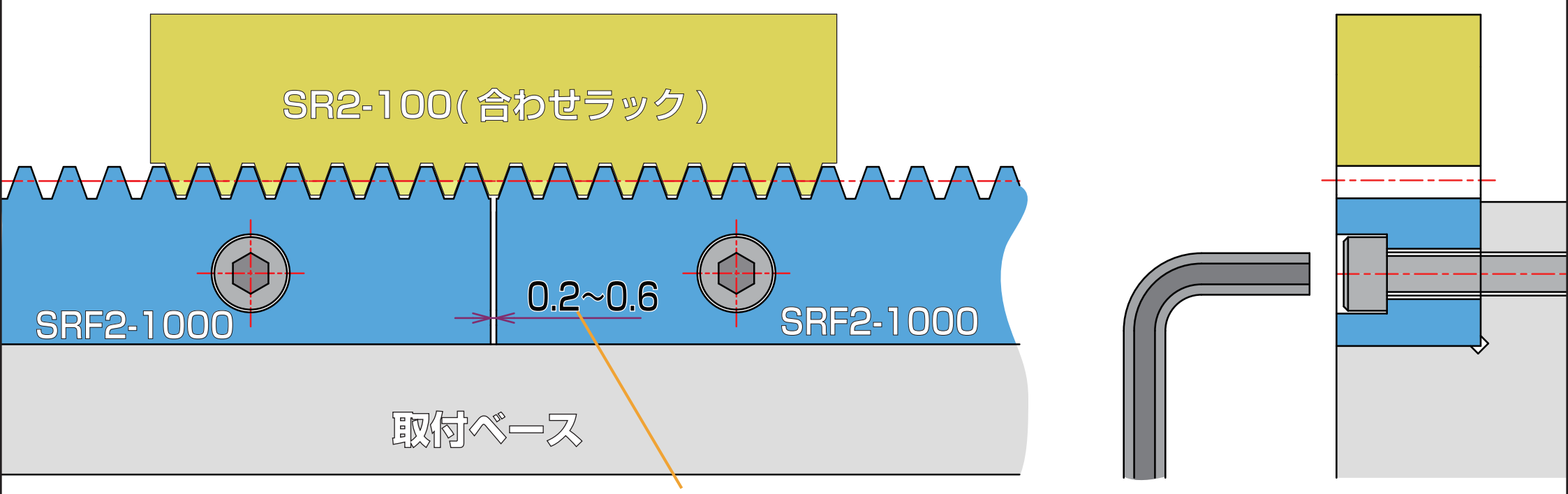
# 取付ベースへの組付け方法（SRF2-1000の場合）

## 1. ピッチ合わせ

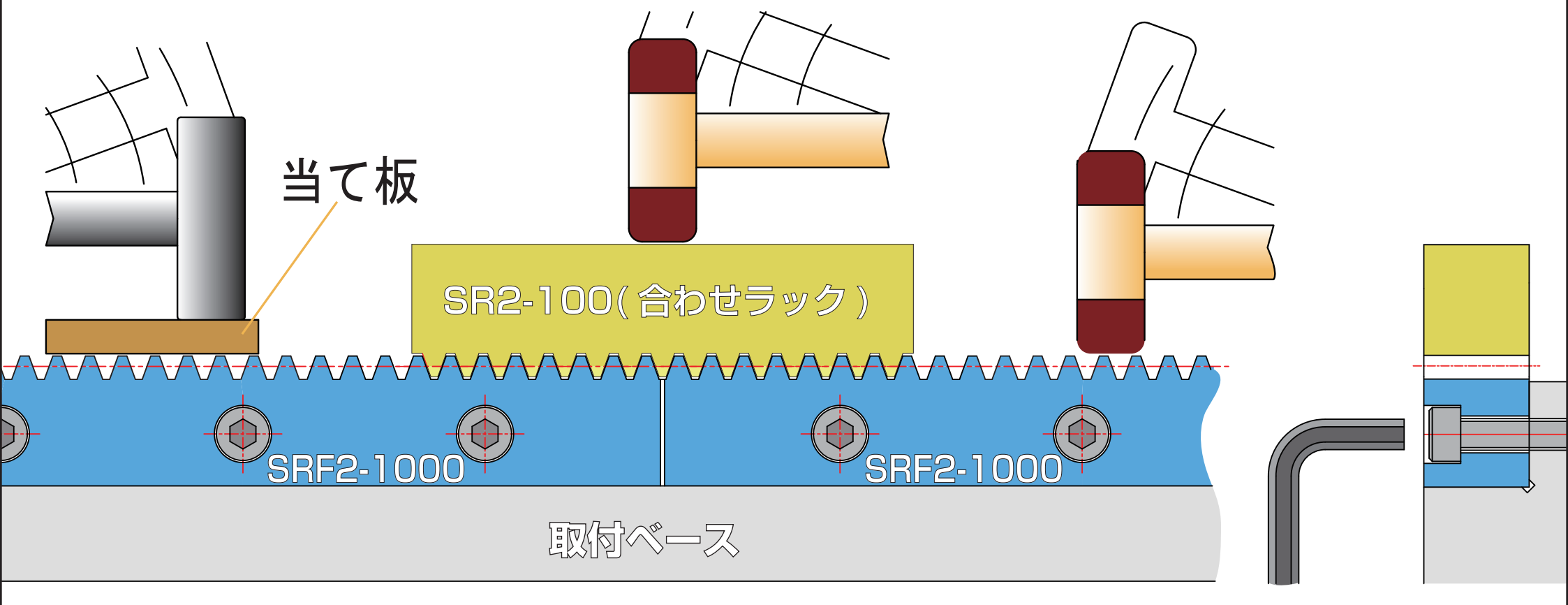
取付ベースにSRF2-1000を乗せ、SR2-100を合わせ、ボルトを仮締めする。




SRF2-1000では0.2～0.6mm
の隙間が開くように設計されています。

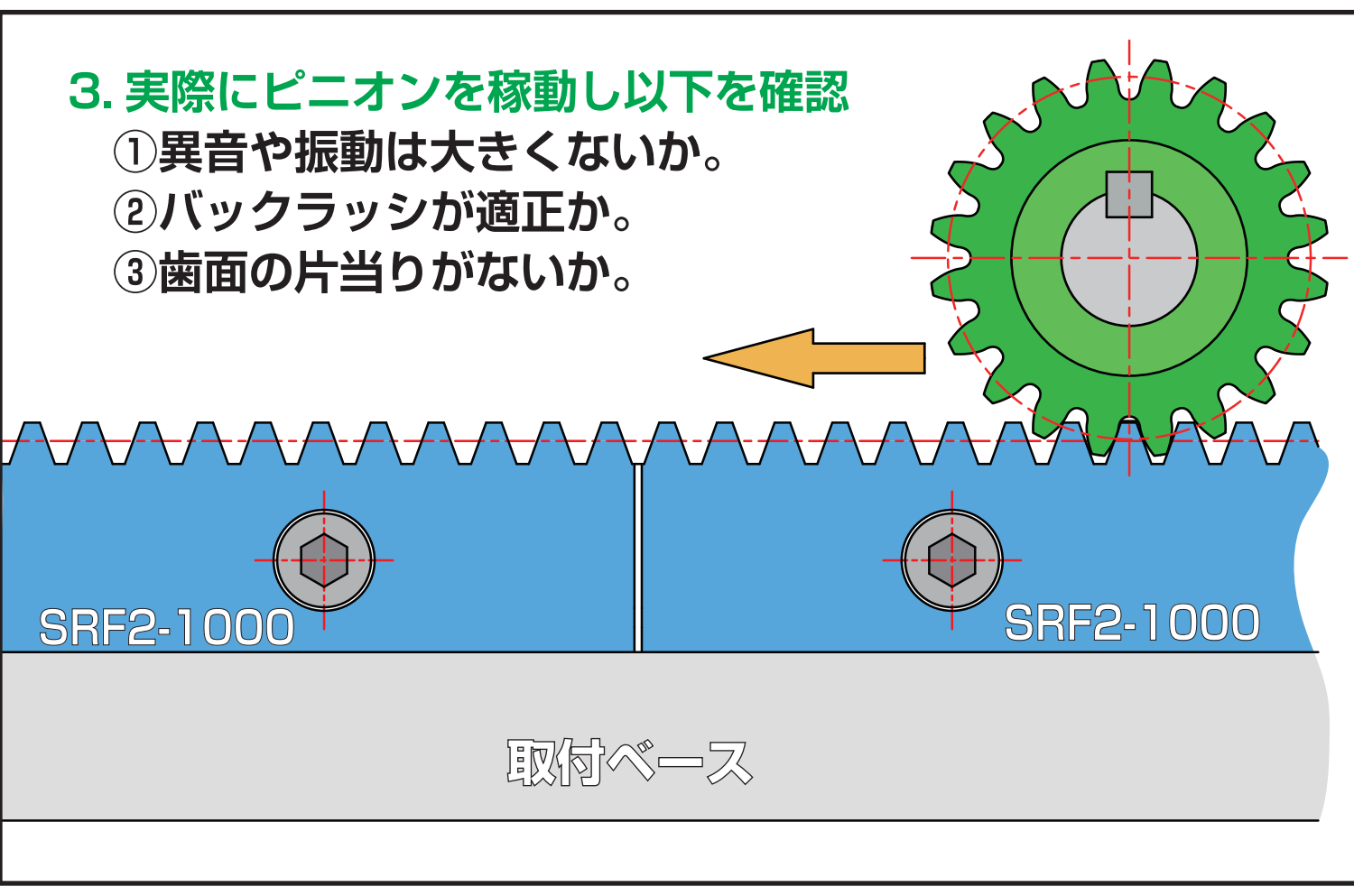
## 2. 取付ベースへの固定

プラスチックハンマーで叩き、取付ベースに密着させ、ボルトを増し締めする。
（やむを得ず金属ハンマーを使用する場合は、当て板などを使い歯面を傷つけないように注意してください。）



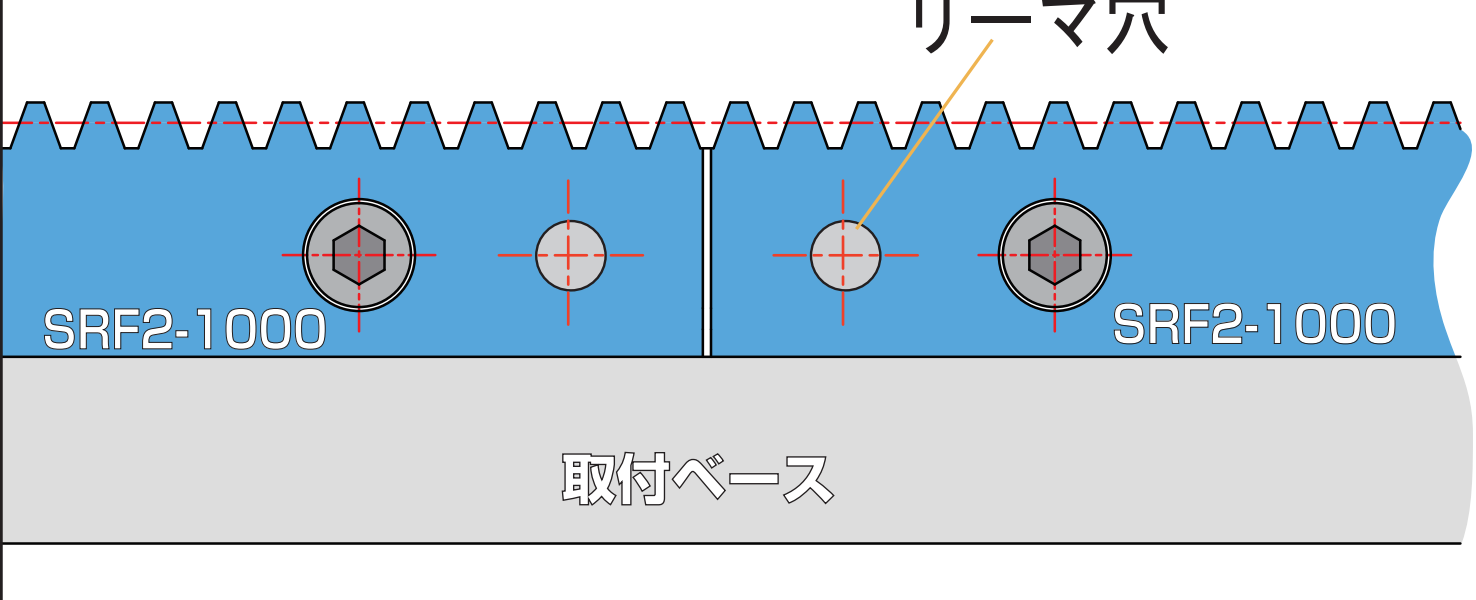

## 3. 実際にピニオンを稼動し以下を確認

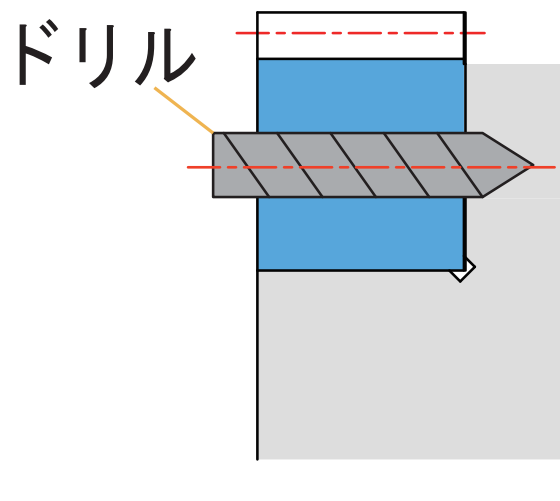
①異音や振動は大きくないか。
②バックラッシが適正か。
③歯面の片当りがないか。



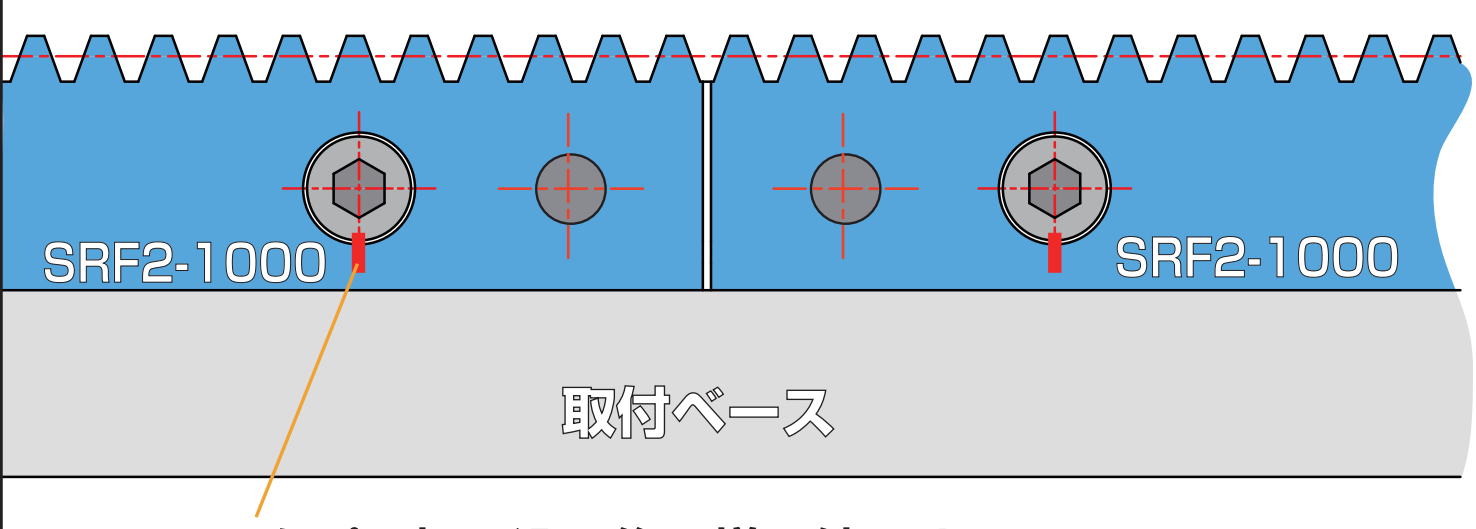

## 4. 取付ベースへの安全な固定

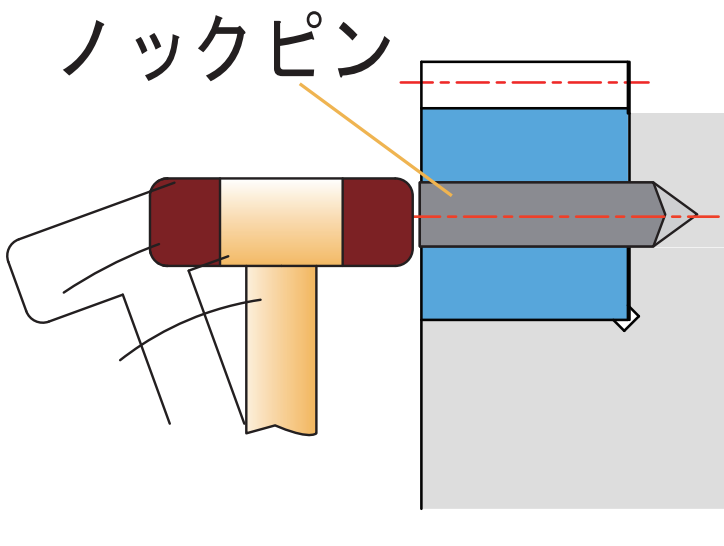
振動などでラックがズレないようにノックピンを打つことを推奨します。
①リーマ穴を同時加工




②ノックピンを打ち込む




ノックピン打ち込み後に増し締めする。
ペンで印を付けておくと緩みを発見できます。